

専 門 分 野



での学び

本県では、魅力ある教育を展開する中で、専門的な学びの充実に取り組んでいます。各学校では、企業・施設等との連携や、外部講師による特別授業、地域との交流など、創意工夫した特色ある学びを実践しています。

和歌山県立熊野高等学校 | 総合学科・看護科

看護 農業

「夢を実現するために」

熊野高等学校には、総合学科と看護科の2つの学科があります。総合学科には農業について専門的に学べる「グリーンマスター系列」があります。この系列では、果樹、草花、野菜、お米の栽培方法などの学習をすることができます。週に2回の熊高市では、授業や農業クラブで育てた野菜や花を販売しており、地域の方とのふれあいの場になっています。「ワークライセンス」や「フラワーアレンジメント」の授業を通して農業に関する資格も取得することができます。

県立高校で唯一の看護科では、看護師の国家試験受験資格の取得まで5年間という最短コースで学習します。高校1年生から教科「看護」の学習が始まります。確かな技術を身につけるため、「基礎看護」の授業は少人数制で授業を展開しています。今年の文化祭では、看護研究・手話クラブ(看護科生徒のみ所属)がハンドマッサージのブースを設け、実際に触れ合うことを大切にした取組で、好評でした。



和歌山県立南部高等学校 | 食と農園科

農業

「目指せ、農と食のスペシャリスト」

南部高等学校には、「食と農園科」に3つコースがあります。「園芸コース」では、農作物栽培のスペシャリストの育成を目指しています。販売実習を通して消費者が求める農作物について専門的な学習をします。「加工流通コース」では、食品加工のスペシャリストの育成を目指しています。食品の流通経路に関する内容だけでなく、最先端の加工機器を利用することで、加工食品の製造や食の安全性に関することについて専門的な学習をします。「調理コース」では、食のスペシャリストの育成を目指しています。農作物を自ら栽培することで、食材の知識を身につけることができます。日本料理、西洋料理、中国料理、郷土料理をそれぞれのプロの調理師から学びながら、高校卒業時には、調理師免許を取得することができます。

農業科は、農作物の栽培が中心と思われませんが、南部高等学校の「食と農園科」は、加工、販売、調理など、様々な分野の学びを展開しています。



和歌山県立有田中央高等学校 | 総合学科福祉系列(介護福祉士養成課程)

福祉

「社会が求める福祉のスペシャリストになる」

有田中央高等学校総合学科福祉系列(介護福祉士養成課程)は、介護福祉士国家試験受験資格が得られる唯一の県立高校です。資格取得と高校生活の充実を目指したカリキュラムにより、一人一人の個性の伸長と学力の向上を図り、現代社会に求められる人材を育成しています。社会福祉やコミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得し、生活を支援するための介護技術を身につけ、医療的ケアについても学びます。高校2、3年生では、実際の福祉施設において介護実習を52日間行います。

高校で福祉を学ぶことでマナーなども学ぶことができ、社会に出てから役に立ちます。将来、介護福祉士として活躍するために、介護福祉士国家試験合格に向けて補習も実施しています。合格するのは簡単なことではありませんが、目標を持って一生懸命勉強に取り組むことは達成感につながります。専門学校や大学で学んでも、同じ国家試験を受けることになります。有田中央高等学校福祉系列は介護福祉士への最短コースです。



「和歌山県学校教育ICTグランドデザイン」を策定しました

和歌山県学校教育ICTグランドデザインは、学校教育の情報化の推進に関する法律第9条第1項に定める【都道府県学校教育情報化推進計画】にあたるものです。令和6年度から令和9年度までの4年間を対象に、教育全体でICT活用教育に関する新しい概念を共有し、3つの基本方針を示した上で、本県の学校教育の情報化及びデジタル化に係る具体的な施策を掲げる計画として策定しました。

基本方針

- 1 児童生徒の資質・能力の育成及び教職員の指導力の向上
- 2 いつでもどこでもつながる安全・安心なICT環境の構築
- 3 持続可能な組織体制の整備と教育DXの推進

IC²T(アイダブルシーティ)とは

和歌山県がめざす教育を実現するためには、児童生徒・教職員だけでなく、教育に関わる全ての人々が、情報(Information)を正しく得た上で、失敗を恐れずに挑戦(Challenge)し、得たスキルやノウハウを活用しながら他者とのコミュニケーションを図り協働し(Communication)、技術(Technique)を学び磨き続ける必要があります。

この考え方を【IC²T(アイダブルシーティ)】という新しい概念として位置づけて【IC²Tをあたりまえに】のコンセプトのもと、基本方針に則り、本グランドデザインの取組を進めていきます。

IC²T をあたりまえに

